



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hoyukai.org/>

第109号

発行:2015年5月15日

発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

現在の高齢者医療、及び

当院の在宅医療部について



湘南泉病院 在宅医療部部長 兼 地域連携室部長 野中 信宏

清々しい五月晴れが快い季節となりましたが、皆様におかれましてはご健勝のこととお喜びいたします。湘南泉病院 総合診療内科の野中 信宏と申します。私が湘南泉病院に勤務してから早いもので6年が経過しました。昨年度より在宅医療部部長を務めさせていただき、今年度より地域連携室部長の兼務を命ぜられ現在に至ります。当院にて在宅診療にあたっていることもあり、この度、広報誌を通じて現在の日本における高齢者医療の現状、および当院の在宅医療部について記載してみようと思います。

近年、日本における高齢者人口は急速に増大しており、少子高齢化社会が一層加速傾向にある事は皆さんもよくご存じのことと思われまます。現在の日本の平均寿命は男性が約80歳、女性が約86歳といわれております。国は世界有数の長寿国と宣伝しておりますが、その陰で健康寿命という言葉が耳にする機会が多くなってきました。健康寿命とは、「日常生活に制限のない期間」のことを指しており、平均寿命と健康寿命の差は日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味します。その差は、平成22年で、男性9.13年、女性12.68年となっており、男女とも約10年前後の不健康な期間があることとなります。今後、さらに平均寿命は延びてくることが予想されていることから、健康寿命との差が開いてくることが予想されます。こうした健康寿命との差が拡大すれば、医療費や介護給付費の多くを消費する期間が増大することになるため、疾病予防と健康増進、介護予防などによって、平均寿命と健康寿命の差を短縮することができれば、個人の生活の質の低下を防ぐとともに、社会保障負担の軽減も期待できると国は考えております。そこで日常生活に制限のある状況を作らないためにはどうすればいいかとなると、著明なADLの低下、認知症の進行を

招く長期入院を減らすことが検討されてきました。

1950年代は約8割の人が自宅で亡くなっていましたが、医療技術の進展、医療機関の整備に伴い、2008年では逆に約8割の人が病院で亡くなるようになっていたため、この状況を鑑みて厚生労働省は伸び続ける医療費の抑制のため在宅医療を推進するようになりました。ニュースでは再生医療、iPs細胞などの高度医療についてよく報道されますが、高齢者医療についてはむしろ昭和の時代に戻していかうという時代に逆行した流れとなっております。

このような高齢者医療の現状ではありますが、寝たきりの状況で会話も出来ず、食事も満足に取れない状況、いわゆる「不健康な期間」の状況となり病院で亡くなっていくのは医療費がどのという以前の問題ではないかとも思います。そのため、在宅医療部としては、外来通院が困難となった患者さんの訪問看護、訪問診療、ケアマネージャーを通じての自宅内の整備やマネジメント、また、いざ自宅にて状態が悪くなったときの緊急連絡、及びスムーズな入院対応などを可能としておりますが、できる限り自宅での生活を重要視したいと考えております。厚生省が推進する住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムの構築、いわゆる地域包括ケアシステムは地域全体の医療、介護機関にて構築されるものでありますが、場合によっては法人内での地域包括ケアシステムの構築を可能にできたら私は考えております。患者さんが疾病を抱えながらも、自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けられるように、これからも訪問診療を継続し、地域に根付いた医療を行っていく所存であります。今後ともご高配を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

看護フェスティバル 2015

～「看護の心」をみんなの心に～

5月12日は近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで制定された『看護の日』です。その前後一週間は、毎年、全国各地で様々なイベントが行われます。鵬友会でも【看護の心をみんなの心に】をメインテーマに看護の日のイベントを5月14日（木）に相鉄線二俣川駅構内において、3病院（湘南泉病院・新中川病院・横浜ほうゆう病院）合同で血圧・体脂肪測定やAED体験、医師による健康相談など、様々な催しを行い、地域の方々と交流を持つことができました。



健康測定



薬剤相談



健康測定



栄養相談



日野院長による医療相談



早川医師による医療相談



体力（バランス）測定



健康測定



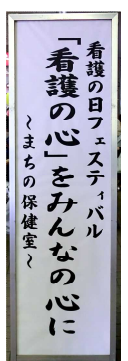
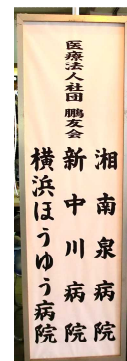
細谷医師による医療相談



認知症介護相談



AED体験



国家試験 合格しました！

看護師	黒澤 しおり	(横浜ほうゆう病院)	介護福祉士	小林 裕子	(新中川病院)
看護師	武田 莉奈	(横浜ほうゆう病院)	介護福祉士	菅原 博子	(新中川病院)
精神保健福祉士	右田 昌子	(新中川病院)	介護福祉士	小口 直美	(横浜ほうゆう病院)
精神保健福祉士	武藤 昭人	(横浜ほうゆう病院)	介護福祉士	鈴木 光	(横浜ほうゆう病院)
保育士	永田 紫沙稀	(ほうゆう保育園)			